

鹿ノ台川柳教室 三月二十日(月)

お題「紙」(連記) 五十嵐千楽選

- 紙おむつしてから余生やり直す 勝利
- 諭吉さま人間社会踊らせる 哲子
- 土曜日はチラシのつまの新聞紙 よし尚
- 青い空紙風船のきまま旅 登美
- 紙芝居動画じゃないと子はグチる 乃り子
- 孫共の恋文きつとメールだね 広子
- 紙模型ドローンよりも高く飛べ 宏樹
- 千羽鶴天まで届け願いごと えいじ
- 鬼になり仏になるも紙一重 義雄
- 逆鱗と琴線分ける紙一重 英二
- 紙吹雪浴びても慢心はしない アキラ
- 履歴書にやる気の顔をでんと貼る 良一
- 薄っぺらな離婚届けに印を押す 正清
- ⑤ 過去をみな消したつもりの再生紙 よう子
- ⑥ 行儀作法大事なことは法にない 千楽

自由吟(共選) 首藤宏樹選

- お水取りお彼岸よりも花粉症 英二
- 日記には自作自演の恋の跡 義雄

- 地獄谷猿も出で湯に安堵する 勝利
- 春が来て空いっぱい虹をかく 正清
- 手話をして影絵がとも色っぽい 正清
- まだまだと希望のかけら持ち歩く よう子
- 技冴える小兵活躍酒旨い アキラ
- 綱締めて浪速の春の仁王立ち 千楽
- 桜にも欲しい梅花のねばり腰 英二
- 古希をすぎこれより先はゆっくりと えいじ
- 枯れ枝も生きてる証し芽吹く庭 哲子
- 正論を吐いて仲間を潰される 勝利
- 横文字でらしく見せてるジャパネット 乃り子
- ⑤ 生きるため心のおしゃれ忘れない よう子
- ⑥ 老後なり唯ひたすらに長い道 宏樹

自由吟(共選) 笹倉良一選

- 綱締めて浪速の春の仁王立ち 千楽
- 悪い子は普通になってほめられる 義雄
- 枯れ枝も生きてる証し芽吹く庭 哲子
- 春が来て空いっぱい虹をかく 正清
- まだまだと希望のかけら持ち歩く よう子
- 正論を吐いて仲間を潰される 勝利
- 生きるため心のおしゃれ忘れない よう子
- 桜にも欲しい梅花のねばり腰 英二

妻と子が思い通りに多数決  
手話をして影絵がとても色っぽい  
日記には自作自演の恋の跡  
誰だつてゴールは一緒ほがらかに  
⑧断捨離の途中ではまるニーチェの書  
⑨半生の喜怒哀楽に楽がない

アキラ  
正清  
義雄  
広子  
広子  
良一

お題「まさか」(互選)

- ②初めまして妹ですと唐突に  
③とんでもないバリアフリーでこけちゃった  
追いつめたつもりが王が歩に取られ  
自販機で釣りだけとつて品忘れ  
恐怖心まさか己の影法師  
④ライバルを煽りまさかの落ちる罠  
たくさんまさか平らげババとなる  
夜明前鏡の中に父がいる  
ウルトラD地中のゴミが金を生む  
⑤嫁ぐ娘にまさかの時の軍資金  
⑥ひよつとしてひよつとしたらと美人の湯  
うらぎりの深さに涙ほほ伝う  
⑦病院の隣に斎場建つ噂  
母の目は我が子のまさか見逃さず  
⑧鉄壁の布陣まさかの落とし穴

乃り子  
よう子  
登美  
宏樹  
勝利  
よう子  
広子  
正清  
英二  
広子  
アキラ  
登美  
義雄  
義雄  
勝利

\*「うらぎりの深さに涙ほほ伝う」互選「まさか」で六点。  
作った句でなく、実体験から来たのでは。  
作者にそのうち、聞いてみたい。ビールを飲みながら。  
連休のせいか、出席十三人+投句二人、と少数精鋭。  
久しぶりの宏樹さんに自由吟選者をお願いした。  
その宏樹さん、良一さんが「秀」とした句が分からない、と。  
それは、「断捨離の途中ではまるニーチェの書」。趣味・趣向  
が問われるケースのようだ。  
よう子さんが連記、自由吟で二冠達成した。(千)\*

次回、四月十七日午後一時から、西集会所。  
お題、「スランプ」、「食べる」、それに「自由吟」。各二句。  
「スランプ」は連記で一枚の短冊に二句とも書く。  
「自由吟」は選者二人の共選、二部提出のこと。

ホームページを御覧の皆様へ

春です。ご入会・句会見学歓迎。脳トレに友達作りに。  
ぜひどうぞ。お問い合わせは左記に なんなりと。

問合せ

五十嵐修(79・0751)、原広子(79・0061)